

法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計

運用ガイド

この度は、「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」は、株式会社アイ・エヌ・エスの「Σ会計 Pro-Socio」の会計データを「法人税の達人」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール手順	5
パターン①「達人Cube」からアップデートする場合	5
パターン②「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
パターン①	
「Σ会計Pro-Socio」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	11
パターン②	
「Σ会計Pro-Socio」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	12
5.操作手順	13
パターン①	
「Σ会計Pro-Socio」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	13
パターン②	
「Σ会計Pro-Socio」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	27
6.連動対象項目	41
「Σ会計Pro-Socio」から連動するデータ(連動元)	41
「法人税の達人」に連動するデータ(連動先)	44
貸借対照表	45
損益計算書	46
製造原価報告書	47
株主資本等変動計算書等	48
個別注記表	49
7.アンインストール方法	50
8.著作権・免責等に関する注意事項	51

1.対応製品

「法人税の達人(平成 21 年度版) from Σ 会計」に対応する NTT データの製品及びアイ・エヌ・エスの製品は以下のとおりです。

対応製品	対応アプリケーション
NTT データ対応製品	法人税の達人(平成 21 年度版) Professional Edition
	法人税の達人(平成 21 年度版) Standard Edition
アイ・エヌ・エス対応製品	Σ会計 Pro-Socio Aシステム(標準版)
	Σ会計 Pro-Socio Bシステム(個別原価管理対応版)

2.動作環境

「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」に必要な動作環境は「1.対応製品」(P.3)に記載の[アイ・エヌ・エス対応製品]と同様です。また、インストールにはハードディスクの空き容量が 20MB 必要です。



注意

「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」(P.3)に記載の[アイ・エヌ・エス対応製品]のいずれかがインストールされている必要があります。

「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」の起動中に、「Σ 会計 Pro-Socio」の起動、およびアンインストールを行うことができません。

データの取り込みを行うためには、「管理者の権限」が必要です。

3.インストール手順

「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」をインストールする手順は、「達人 Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の 2 パターンあります。



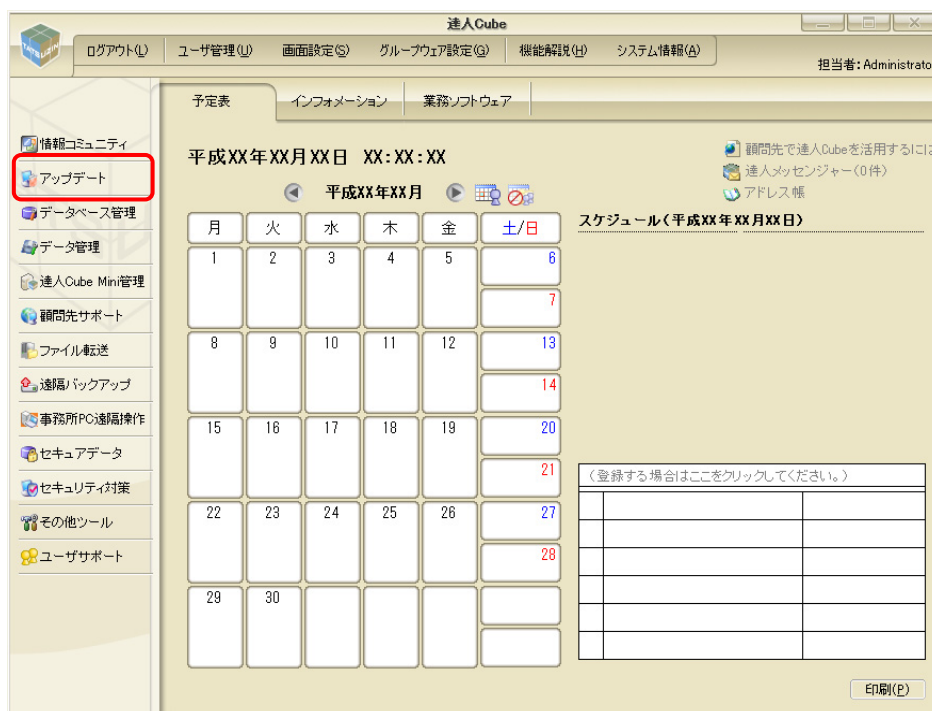
注意

Microsoft Windows Vista では、インストール作業中に[ユーザーアカウント制御]画面が表示されることがあります。その場合は[続行]ボタンをクリックして作業を進めてください。

パターン①

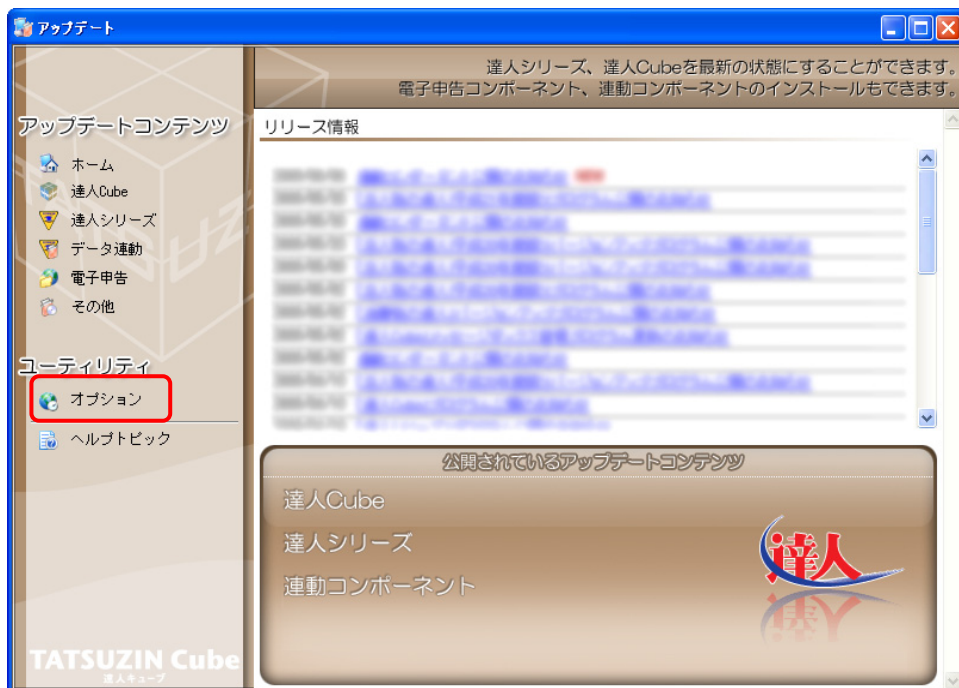
「達人 Cube」からアップデートする場合

1. 「達人 Cube」にログインし、拡張機能メニュー「アップデート」をクリックします。



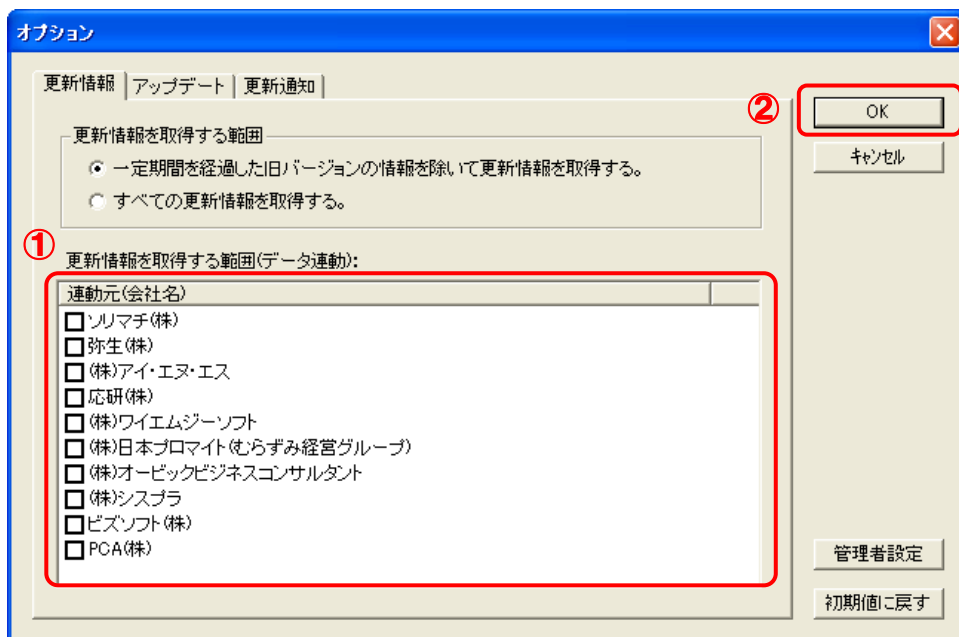
[アップデート]画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



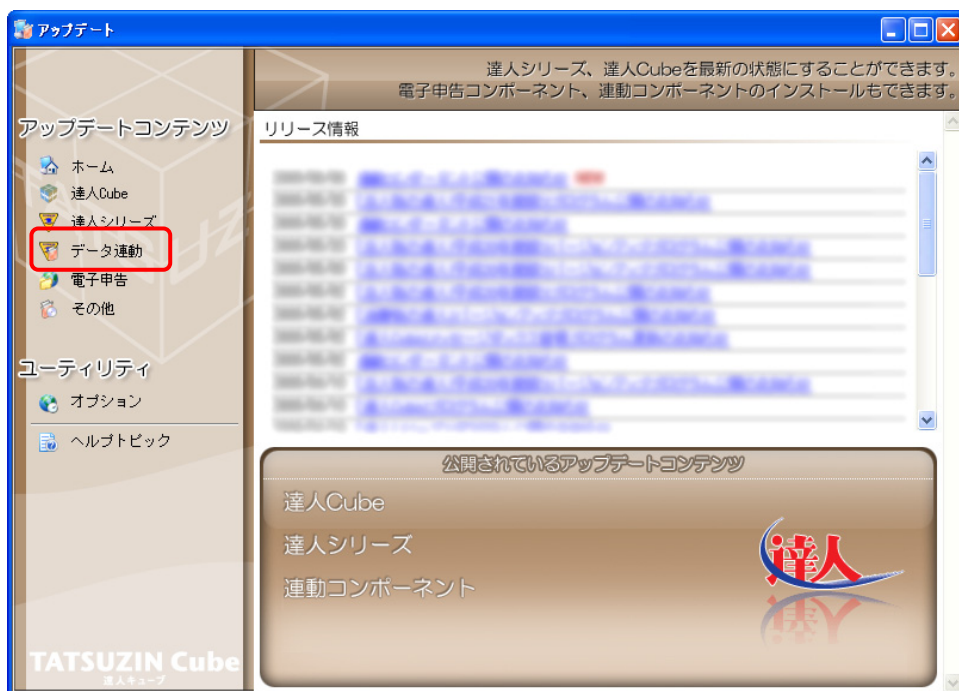
[オプション]画面が表示されます。

3. [更新情報] タブー [更新情報を取得する範囲 (データ連動)] において該当の [連動元 (会社名)] にチェックをつけ (①)、[OK] ボタンをクリックします (②)。



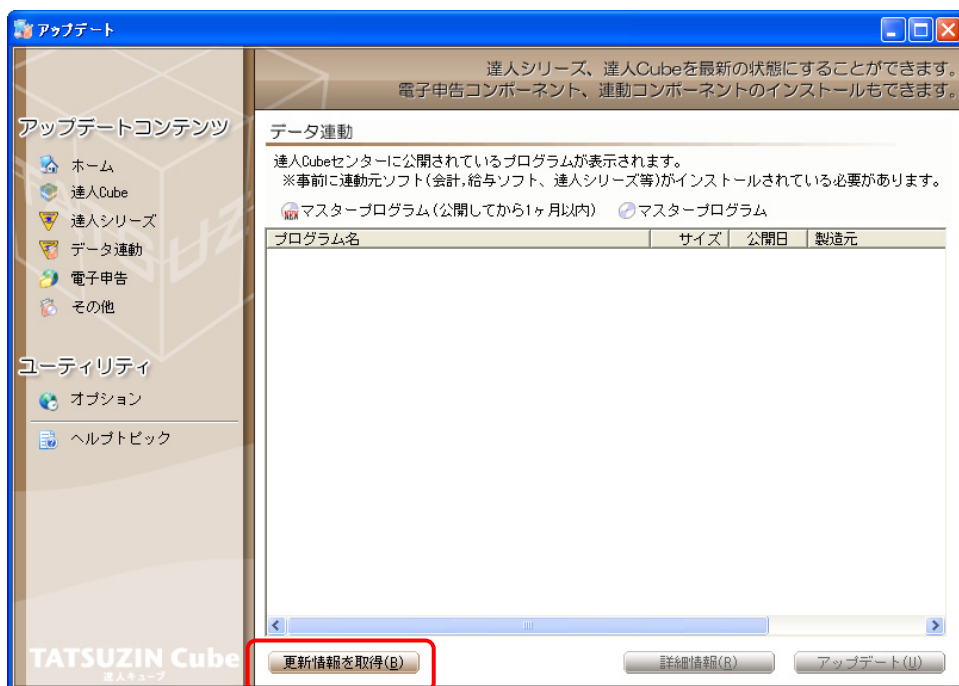
[アップデート]画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



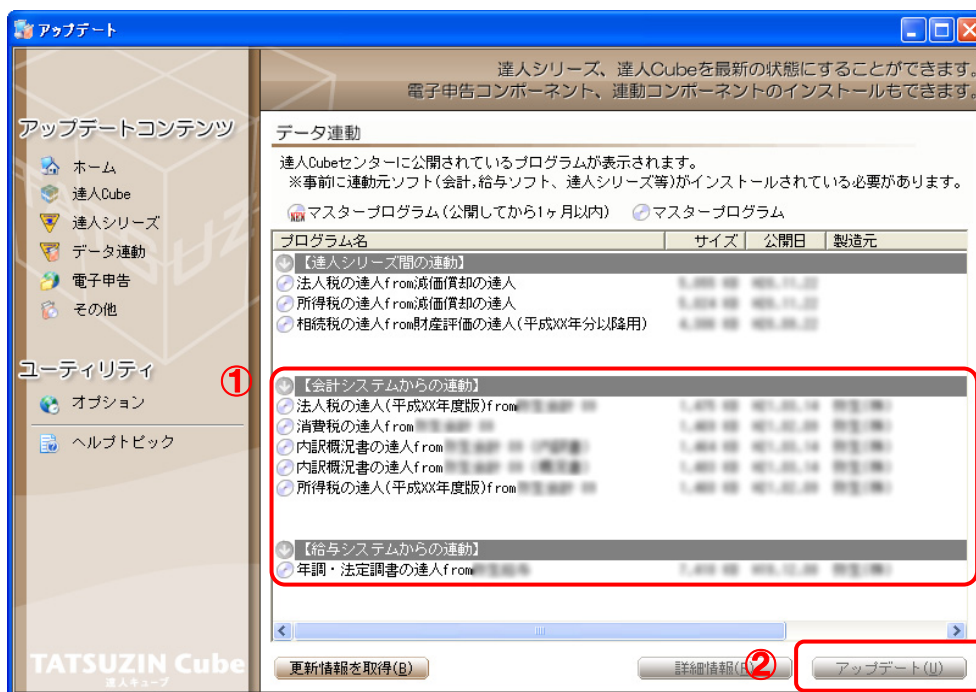
[データ連動]画面が表示されます。

5. [更新情報を取得] ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート] ボタンをクリックします(②)。



セットアップウィザードが表示されます。

7. [次へ] ボタンをクリックします。

使用許諾契約書の画面が表示されます。

8. 使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

インストール準備の画面が表示されます。

9. [次へ] ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. セットアップウィザード完了の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」のインストールは終了です。

パターン②

「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトのページ
(<http://www.tatsuzin.info/rendousoft/>) を開きます。



2. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの「連動コンポーネントをダウンロードする」ボタンをクリックします。

該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。

3. 該当の連動コンポーネントの「連動コンポーネントをダウンロードする」ボタンをクリックします。

[ファイルのダウンロード]画面が表示されます。

4. [保存] ボタンをクリックします。

[名前をつけて保存]画面が表示されます。

5. [保存する場所] を指定して、[保存] ボタンをクリックします。

「保存する場所」に指定した場所にファイルがダウンロードされます。

6. 手順 5.でダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

セットアップウィザードが表示されます。

- 7.** [次へ] ボタンをクリックします。
使用許諾契約書の画面が表示されます。
- 8.** 使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
インストール準備の画面が表示されます。
- 9.** [次へ] ボタンをクリックします。
インストールが開始されます。
- 10.** セットアップウィザード完了の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」のインストールは終了です。

4.運用方法

「法人税の達人(平成 21 年度版) from Σ 会計」は、「Σ 会計 Pro-Socio」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「Σ 会計 Pro-Socio」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

「Σ 会計 Pro-Socio」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

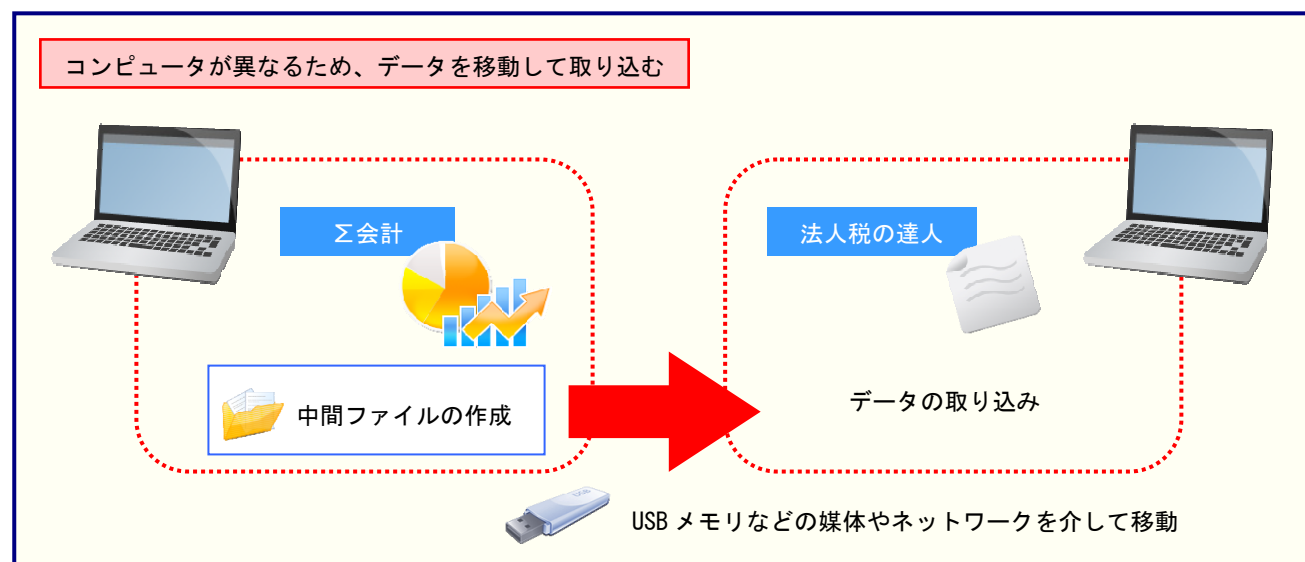
「法人税の達人(平成 21 年度版) from Σ 会計」で作成された中間ファイルを直接「法人税の達人」に取り込みます。



パターン②

「Σ会計 Pro-Socio」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

「Σ会計 Pro-Socio」がインストールされているコンピュータで中間ファイルを作成し、「法人税の達人」がインストールされているコンピュータで取り込みます。



5.操作手順

「法人税の達人(平成 21 年度版) from Σ 会計」を使って、以下の手順で連動します。

事前に「6.連動対象項目」(P.41)を必ずお読みください。

操作手順は、「Σ会計 Pro-Socio」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

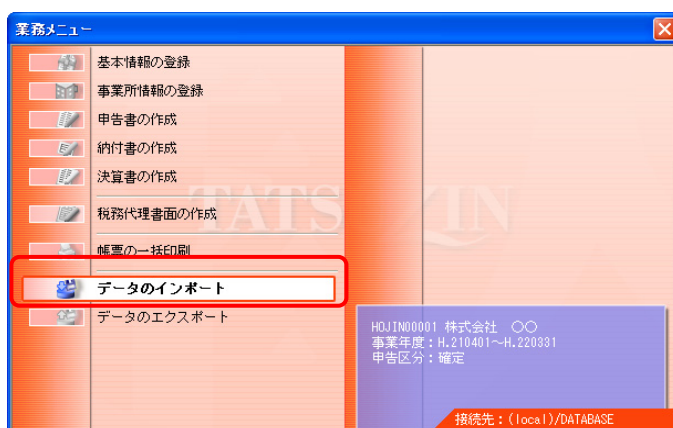
パターン①

「Σ会計 Pro-Socio」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

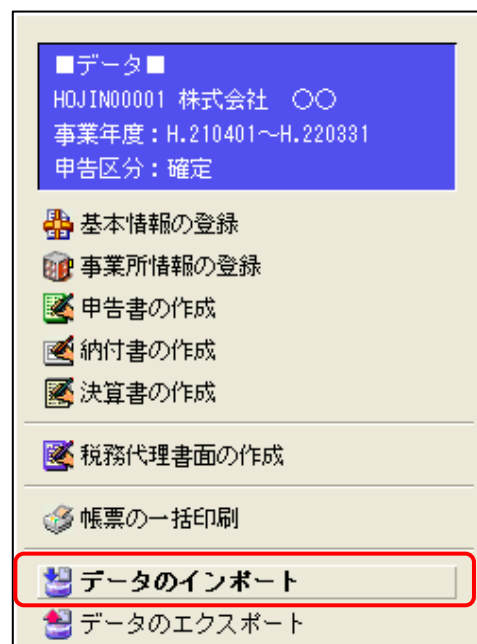
1. 「法人税の達人」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー [データのインポート] をクリックします。

※「達人 Cube」のインストール状況で業務メニュー画面が異なります。

■ インストールされている場合

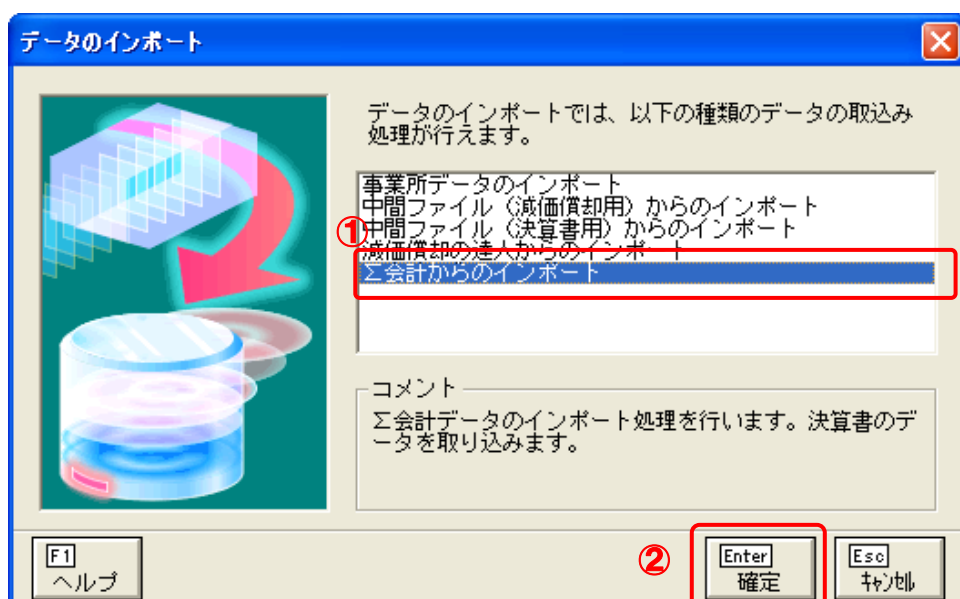


■ インストールされていない場合



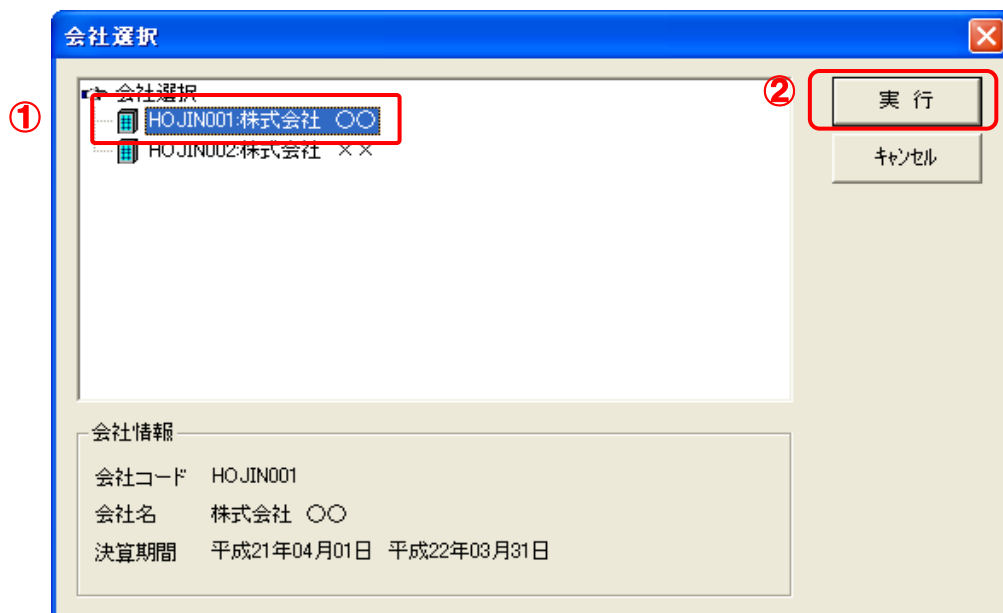
[データのインポート]画面が表示されます。

2. [Σ 会計からのインポート] をクリックして選択し (①)、[確定] ボタンをクリックします (②)。



「法人税の達人(平成 21 年度版)fromΣ 会計」のウィザードが表示されます。

3. 「法人税の達人」に取り込む「Σ 会計 Pro-Socio」のデータをクリックして選択し (①)、[次へ] ボタンをクリックします (②)。



[財務会計の集計]画面が表示されます。

4.

決算書の各帳票に関する連動情報を設定します。貸借対照表に関する連動情報を設定するには、[貸借対照表] ボタンをクリックします。

財務会計の集計

株式会社 ○○

自21年 4月 1日～至22年 3月31日

出力先ファイル

C:\DOCUMENT1\TATSUZIN\LOCALS\1\Temp\Hj21TEMP4.XML

参照

貸借対照表

損益計算書

原価報告書

実行

終了

※ ここでは、貸借対照表を連動情報の設定例としています。必要な帳票について設定を行ってください。

[貸借対照表の個別表示パターンの設定]画面が表示されます。

5. 貸借対照表の個別特定科目についての各表示パターンを設定し (①)、[OK] ボタンをクリックします (②)。

貸借対照表の個別表示パターン設定

①

1. 流動資産 貸倒引当金 科目別控除	3. 投資その他の資産 貸倒引当金 科目別控除
2. 有形固定資産 ☒ 減価償却累計額 科目別控除 減損損失累計額 科目別控除 ☐ 減価償却累計額及び減損損失累計額 科目別控除	☒ 減価償却累計額 科目別控除 減損損失累計額 科目別控除 ☐ 減価償却累計額及び減損損失累計額 科目別控除

初期値

② OK キャンセル

[貸借対照表]画面が表示されます。

6. 「法人税の達人」の決算書の要素と「Σ 会計」の科目の関連付けを行います。「法人税の達人」の決算書で使用する科目をクリックして選択し(①)、[選択] ボタンをクリックします(②)。

貸借対照表

法人税の達人の科目	Σ 会計の科目	説明
資産の部		資産合計
流動資産		流動資産合計
当座資産		現金及び預金合計
現金及び預金		現金及び預金合計
現金		
小口現金		
預金		
当座預金		
郵便振替貯金		
普通預金		
郵便貯金		
通知預金		
納税準備預金		
貯蓄預金		
その他の流動性預金		
定期預金		
定期預金		
積立預金		
別段預金		
特定金銭信託		
その他の固定性預金		
その他の預金		
受取手形及び売掛金(純額)		純額
受取手形及び売掛金		総額 連結決算用科目
貸倒引当金		マイナス金額で登録 受取手形及び売掛金に対する...
受取手形(純額)		純額
受取手形		総額
貸倒引当金		マイナス金額で登録 受取手形に対する貸倒引当金
完成工事未収入金(純額)		純額
完成工事未収入金		総額 建設業用
貸倒引当金		マイナス金額で登録 完成工事未収入金に対する...
売掛金(純額)		純額
売掛金		総額

「法人税の達人」の決算書要素とΣ会計の科目を関連付けてください。 要素見出し 設定済み

取消 Delete ② 選択 Enter 閉じる Esc

選択した科目に対し「Σ 会計」側の科目の関連付けを行う画面が表示されます。

7. 手順6. で選択した「法人税の達人」の科目に対して関連付けを行う「Σ 会計」側の科目をクリックして選択し ①、[選択] ボタンをクリックします ②。

現金

現在の設定

①

コード	科目名称
100	現金
110	小口現金
210	当座預金
211	当座預金: 東西銀行
212	当座預金: 西部銀行
220	普通預金
221	普通預金: 東西銀行
222	普通預金: 西部銀行
240	通知預金
9010	流動性現預金
310	定期預金
320	定期積金
9120	固定性預金
9130	現金及び預金
410	受取手形
430	売掛金
490	貸倒引当金
9140	当座資産
510	商品
520	製品

科目、または合計科目を指定してください。 ☐ 合計科目
※リストにない場合は別の要素に設定済みの可能性があります。

②

[貸借対照表]画面が表示されます。

8. 「法人税の達人」の決算書で使用する科目の関連付けの設定が全て終了したら、[閉じる] ボタンをクリックします。

貸借対照表

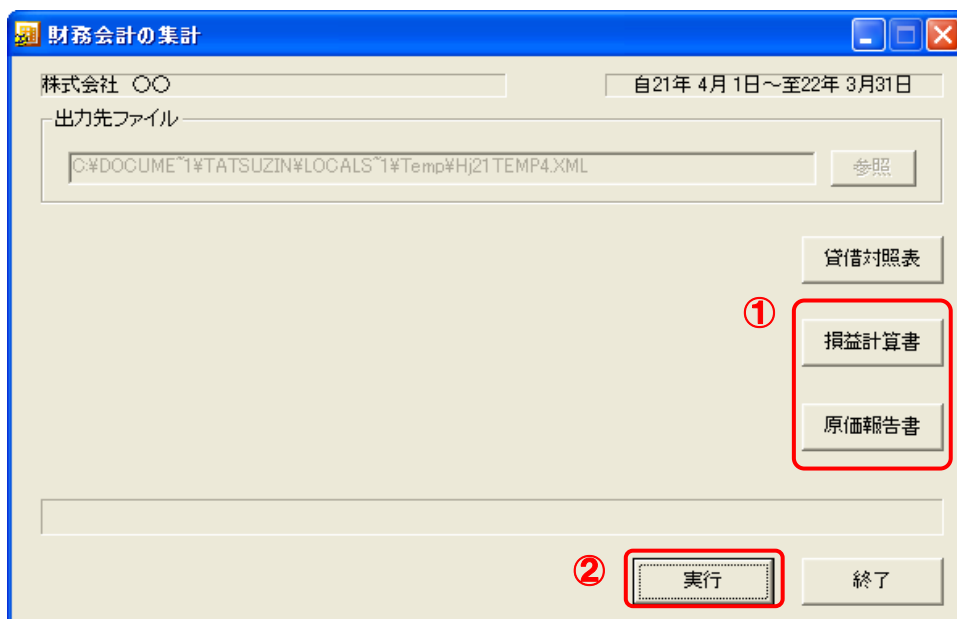
法人税の達人の科目	Σ 会計の科目	説明
資産の部		資産合計
流動資産		流動資産合計
当座資産		現金及び預金合計
現金及び預金	100 現金	現金及び預金合計
現金		
小口現金		
預金		
当座預金		
郵便振替貯金		
普通預金		
郵便貯金		
通知預金		
納税準備預金		
貯蓄預金		
その他の流動性預金		
定期預金		
定期積金		
積立預金		
別段預金		
特定金銭信託		
その他の固定性預金		
その他の預金		
受取手形及び売掛金(純額)		純額
受取手形及び売掛金		総額 連結決算用科目
貸倒引当金		マイナス金額で登録 受取手形及び売掛金に對する...
受取手形(純額)		純額
受取手形		総額
貸倒引当金		マイナス金額で登録 受取手形に對する貸倒引当金
完成工事未収入金(純額)		純額
完成工事未収入金		総額 建設業用
貸倒引当金		マイナス金額で登録 完成工事未収入金に對する...
売掛金(純額)		純額
売掛金		総額

「法人税の達人」の決算書要素とΣ会計の科目を関連付けてください。 要素見出し 設定済み

取消 Delete 選択 Enter 閉じる Esc

[財務会計の集計]画面が表示されます。

9. 手順4.～手順8.の貸借対照表の場合と同様に、[損益計算書]、[原価報告書]の各ボタンから各帳票の連動情報を設定し(①)、[実行] ボタンをクリックします(②)。

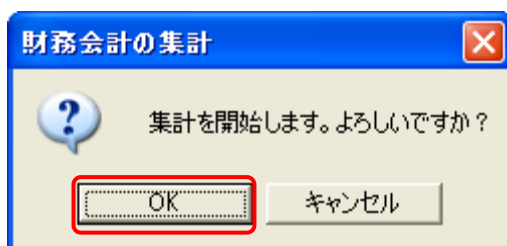


※ 必要な帳票について連動情報の設定を行ってください。

※ 原価報告書には表示パターンの設定は有りません。

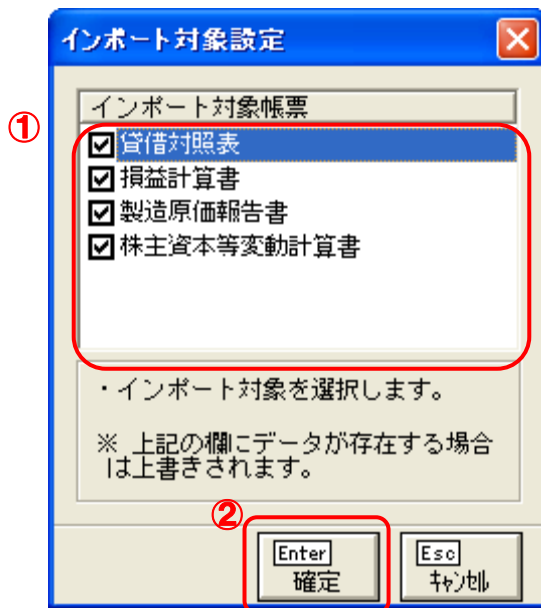
集計を開始する旨のメッセージが表示されます。

10. [OK] ボタンをクリックします。



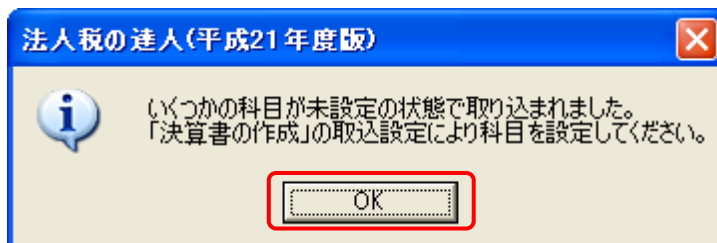
[インポート対象設定]画面が表示されます。

11. [インポート対象帳票]を設定して(①)、[確定] ボタンをクリックします(②)。



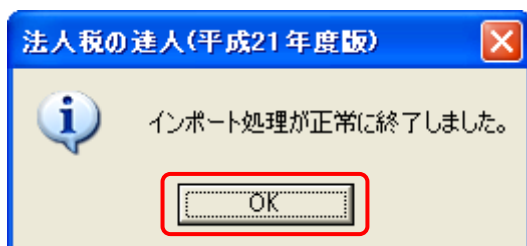
取込設定についてのメッセージが表示されます。

12. [OK] ボタンをクリックします。



完了画面が表示されます。

13. [OK] ボタンをクリックします。



データの作成(中間ファイルの作成)が終了すると同時に、「法人税の達人」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは終了です。

**注意**

- データの作成を行う前に、以下の集計先の設定が正しく行われているかどうかを必ず確認してください。

- ・「貸借対照表」の集計項目の設定
- ・「損益計算書」の集計科目の設定
- ・「原価報告書」の集計科目の設定

Σ会計の会社データの全勘定試算表印刷順序と連動しています。

勘定科目や印刷順序を追加・変更・削除した場合は、必ず集計先の設定を確認してください。

- データの作成を行う前に、以下の変動事由の名称が設定されているかどうかを必ず確認してください。
 - ・ 新株の発行
 - ・ 新株の発行(新株予約権の行使)
 - ・ 剰余金(その他資本剰余金)の配当
 - ・ 剰余金の配当
 - ・ 剰余金の配当(適用初年度)
 - ・ 自己株式の取得
 - ・ 自己株式の処分
 - ・ 自己株式の消却
 - ・ 当期純利益
 - ・ 合併による増加
 - ・ 会社分割による増加
 - ・ 株式交換による増加
 - ・ 株式移転による増加
 - ・ 分割型の会社分割による減少
 - ・ 資本金から準備金への振替
 - ・ 資本金から剰余金への振替
 - ・ 準備金から資本金への振替
 - ・ 準備金から剰余金への振替
 - ・ 減資
 - ・ 欠損填補
 - ・ 資本準備金の取崩
 - ・ 役員賞与
 - ・ 利益処分
 - ・ 利益準備金の積立
 - ・ 利益準備金の取崩
 - ・ 配当平均積立金の積立

- ・ 配当平均積立金の取崩
- ・ 固定資産圧縮積立金の積立
- ・ 固定資産圧縮積立金の取崩
- ・ 固定資産圧縮積立金の積立(適用初年度)
- ・ 固定資産圧縮積立金の取崩(適用初年度)
- ・ 固定資産圧縮特別勘定積立金の積立
- ・ 固定資産圧縮特別勘定積立金の取崩
- ・ 特別償却準備金の積立
- ・ 特別償却準備金の取崩
- ・ 特別償却準備金の積立(適用初年度)
- ・ 特別償却準備金の取崩(適用初年度)
- ・ プログラム等準備金の取崩
- ・ 海外投資等損失準備金の積立
- ・ 海外投資等損失準備金の取崩
- ・ 研究開発積立金の積立
- ・ 研究開発積立金の取崩
- ・ 配当積立金の積立
- ・ 配当積立金の取崩
- ・ 配当準備金の積立
- ・ 配当準備金の取崩
- ・ 配当準備積立金の積立
- ・ 配当準備積立金の取崩
- ・ 配当引当積立金の積立
- ・ 配当引当積立金の取崩
- ・ 退職給与積立金の積立
- ・ 退職給与積立金の取崩
- ・ 退職積立金の積立
- ・ 退職積立金の取崩
- ・ 退職手当積立金の積立
- ・ 退職手当積立金の取崩
- ・ 退職慰労積立金の積立
- ・ 退職慰労積立金の取崩
- ・ 役員退職積立金の積立
- ・ 役員退職積立金の取崩
- ・ 圧縮記帳積立金の積立
- ・ 圧縮記帳積立金の取崩
- ・ 圧縮積立金の積立

- ・ 圧縮積立金の取崩
- ・ 土地圧縮積立金の積立
- ・ 土地圧縮積立金の取崩
- ・ 建物圧縮積立金の積立
- ・ 建物圧縮積立金の取崩
- ・ 不動産圧縮積立金の積立
- ・ 不動産圧縮積立金の取崩
- ・ 資産圧縮積立金の積立
- ・ 資産圧縮積立金の取崩
- ・ 償却資産圧縮積立金の積立
- ・ 償却資産圧縮積立金の取崩
- ・ 買換資産圧縮積立金の積立
- ・ 買換資産圧縮積立金の取崩
- ・ 買換資産積立金の積立
- ・ 買換資産積立金の取崩
- ・ 特別償却積立金の積立
- ・ 特別償却積立金の取崩
- ・ 特別積立金の積立
- ・ 特別積立金の取崩
- ・ 任意積立金の積立
- ・ 任意積立金の取崩
- ・ 別途積立金の積立
- ・ 別途積立金の取崩
- ・ 土地再評価差額金の取崩
- ・ その他有価証券の売却による増減
- ・ その他有価証券の減損処理による増減
- ・ 純資産の部に直接計上されたその他有価証券評価差額金の増減
- ・ 連結子会社の増資による持分の増減
- ・ ヘッジ対象の損益認識による増減
- ・ ヘッジ会計の終了による増減
- ・ 純資産の部に直接計上された繰延ヘッジ損益の増減
- ・ 在外連結子会社等の株式の売却による増減
- ・ 連結範囲の変動に伴う為替換算調整勘定の増減
- ・ 純資産の部に直接計上された為替換算調整勘定の増減
- ・ 新株予約権の発行
- ・ 新株予約権の取得
- ・ 新株予約権の行使

- ・ 新株予約権の失効
- ・ 自己新株予約権の消却
- ・ 自己新株予約権の処分

- ・ 連結子会社の増加による少数株主持分の増減
- ・ 連結子会社の減少による少数株主持分の増減
- ・ 連結子会社株式の取得による持分の増減
- ・ 連結子会社株式の売却による持分の増減
- ・ 少数株主利益
- ・ 株主資本以外の項目の当期変動額(純額)

Σ会計の会社データの変動事由名と連動しています。

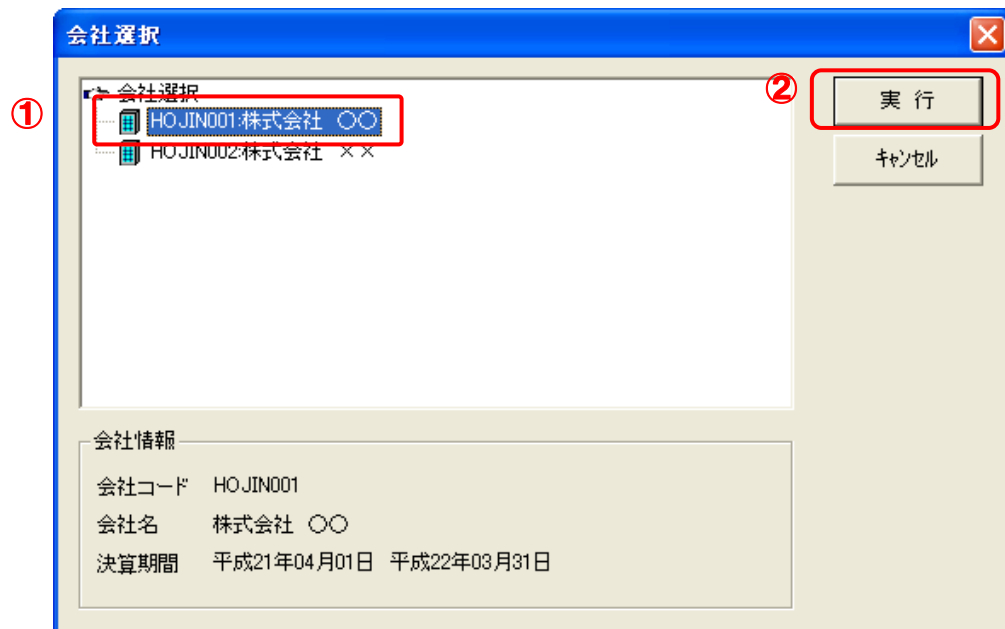
パターン②

「Σ 会計 Pro-Socio」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

1. Windows の [スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] － [達人シリーズ] － [連動コンポーネント] － 「法人税の達人(平成 21 年度版) from Σ 会計」をクリックします。

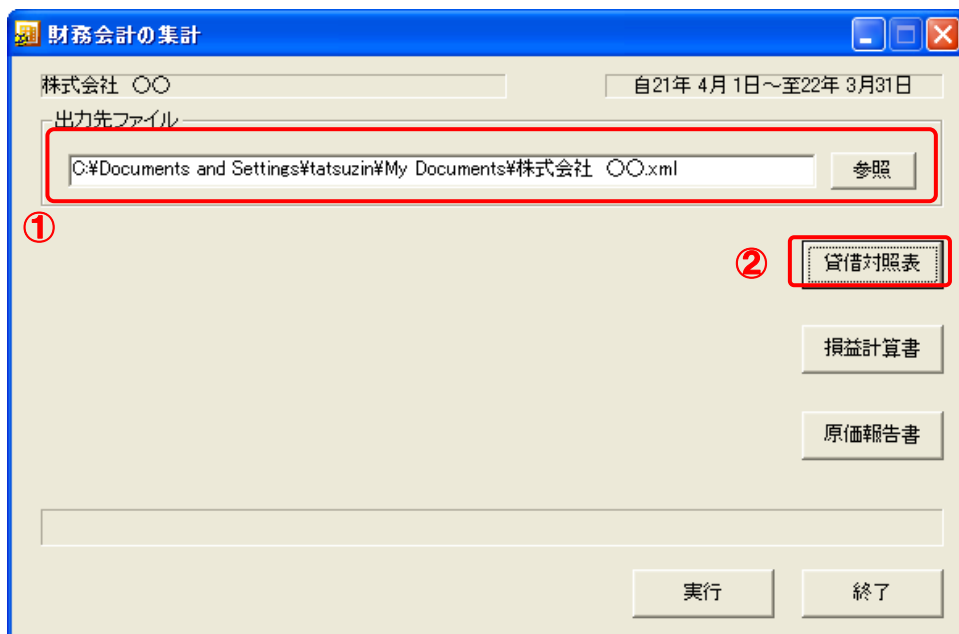
「法人税の達人(平成 21 年度版) from Σ 会計」のウィザードが表示されます。

2. 「法人税の達人」に取り込む「Σ 会計 Pro-Socio」のデータをクリックして選択し (①)、[次へ] ボタンをクリックします (②)。



[財務会計の集計]画面が表示されます。

3. [出力先ファイル] を [参照] ボタンから設定、もしくは直接入力した後 ①、決算書の各帳票に関する連動情報を設定します。貸借対照表に関する連動情報を設定するには、[貸借対照表] ボタンをクリックします ②。



※ 出力先のファイル拡張子には、XML（中間ファイル）を指定してください。

※ ここでは、貸借対照表を連動情報の設定例としています。必要な帳票について設定を行ってください。

[貸借対照表の個別表示パターンの設定]画面が表示されます。

4. 貸借対照表の個別特定科目についての各表示パターンを設定し (①)、[OK] ボタンをクリックします (②)。

貸借対照表の個別表示パターン設定

①

1. 流動資産 貸倒引当金 科目別控除	3. 投資その他の資産 貸倒引当金 科目別控除
2. 有形固定資産 ☒ 減価償却累計額 科目別控除 減損損失累計額 科目別控除 ☐ 減価償却累計額及び減損損失累計額 科目別控除	☒ 減価償却累計額 科目別控除 減損損失累計額 科目別控除 ☐ 減価償却累計額及び減損損失累計額 科目別控除

初期値

② OK キャンセル

[貸借対照表]画面が表示されます。

5. 「法人税の達人」の決算書の要素と「Σ 会計」の科目の関連付けを行います。「法人税の達人」の決算書で使用する科目をクリックして選択し(①)、[選択] ボタンをクリックします(②)。

貸借対照表

法人税の達人の科目	Σ 会計の科目	説明
資産の部		資産合計
流動資産		流動資産合計
当座資産		現金及び預金合計
現金及び預金		現金及び預金合計
現金		
小口現金		
預金		
当座預金		
郵便振替貯金		
普通預金		
郵便貯金		
通知預金		
納税準備預金		
貯蓄預金		
その他の流動性預金		
定期預金		
定期預金		
積立預金		
別段預金		
特定金銭信託		
その他の固定性預金		
その他の預金		
受取手形及び売掛金(純額)		純額
受取手形及び売掛金		総額 連結決算用科目
貸倒引当金		マイナス金額で登録 受取手形及び売掛金に対する...
受取手形(純額)		純額
受取手形		総額
貸倒引当金		マイナス金額で登録 受取手形に対する貸倒引当金
完成工事未収入金(純額)		純額
完成工事未収入金		総額 建設業用
貸倒引当金		マイナス金額で登録 完成工事未収入金に対する...
売掛金(純額)		純額
売掛金		総額

「法人税の達人」の決算書要素とΣ会計の科目を関連付けてください。 要素見出し 設定済み

取消 Delete ② 選択 Enter 閉じる Esc

選択した科目に対し「Σ 会計」側の科目の関連付けを行う画面が表示されます。

6. 手順5. で選択した「法人税の達人」の科目に対して関連付けを行う「Σ 会計」側の科目をクリックして選択し ①)、[選択] ボタンをクリックします ②)。

現金

現在の設定

①

コード	科目名称
100	現金
110	小口現金
210	当座預金
211	当座預金: 東西銀行
212	当座預金: 西部銀行
220	普通預金
221	普通預金: 東西銀行
222	普通預金: 西部銀行
240	通知預金
9010	流動性現預金
310	定期預金
320	定期積金
9120	固定性預金
9130	現金及び預金
410	受取手形
430	売掛金
490	貸倒引当金
9140	当座資産
510	商品
520	製品

科目、または合計科目を指定してください。 ☐ 合計科目
※リストにない場合は別の要素に設定済みの可能性があります。

②

[貸借対照表]画面が表示されます。

7. 「法人税の達人」の決算書で使用する科目の関連付けの設定が全て終了したら、[閉じる] ボタンをクリックします。

貸借対照表

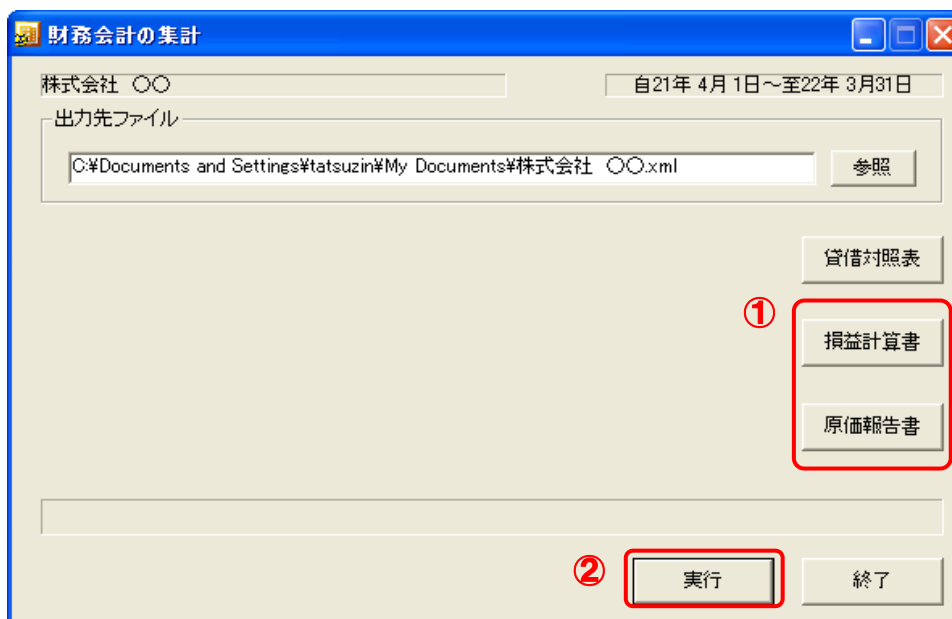
法人税の達人の科目	Σ 会計の科目	説明
資産の部		資産合計
流動資産		流動資産合計
当座資産		現金及び預金合計
現金及び預金	100 現金	現金及び預金合計
現金		
小口現金		
預金		
当座預金		
郵便振替貯金		
普通預金		
郵便貯金		
通知預金		
納税準備預金		
貯蓄預金		
その他の流動性預金		
定期預金		
定期積金		
積立預金		
別段預金		
特定金銭信託		
その他の固定性預金		
その他の預金		
受取手形及び売掛金(純額)		純額
受取手形及び売掛金		総額 連結決算用科目
貸倒引当金		マイナス金額で登録 受取手形及び売掛金に対する...
受取手形(純額)		純額
受取手形		総額
貸倒引当金		マイナス金額で登録 受取手形に対する貸倒引当金
完成工事未収入金(純額)		純額
完成工事未収入金		総額 建設業用
貸倒引当金		マイナス金額で登録 完成工事未収入金に対する...
売掛金(純額)		純額
売掛金		総額

「法人税の達人」の決算書要素とΣ会計の科目を関連付けてください。 要素見出し 設定済み

取消 Delete 選択 Enter 閉じる Esc

[財務会計の集計]画面が表示されます。

8. 手順3. ～手順7. の貸借対照表の場合と同様に、[損益計算書]、[原価報告書]の各ボタンから各帳票の連動情報を設定し(①)、[実行] ボタンをクリックします(②)。

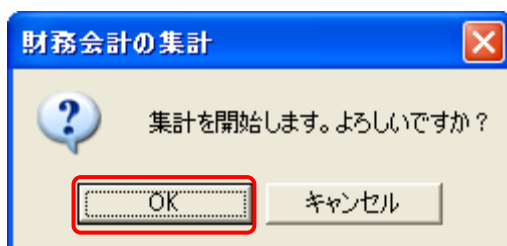


※ 必要な帳票について連動情報の設定を行ってください。

※ 原価報告書には表示パターンの設定は有りません。

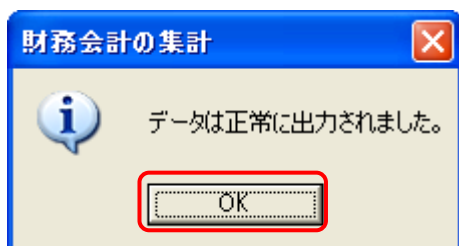
集計を開始する旨のメッセージが表示されます。

9. [OK] ボタンをクリックします。



データの出力結果の画面が表示されます。

10. [完了] ボタンをクリックします。



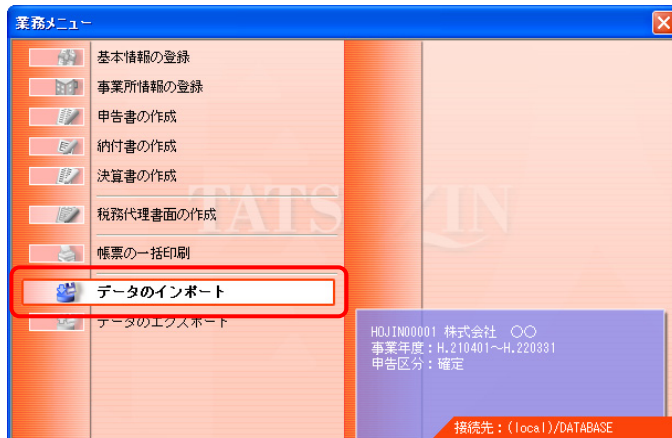
手順 3. で指定した[出力先ファイル]に、中間ファイルが作成されます。

11. 作成された中間ファイルを、USB メモリなどの媒体やネットワークを介して「法人税の達人」がインストールされているコンピュータに移動します。

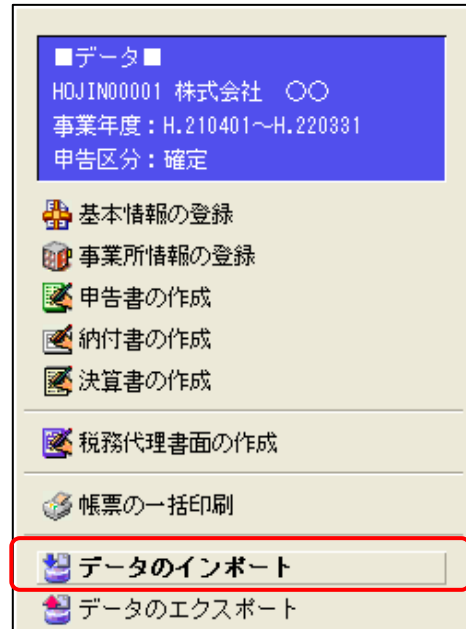
12. 「法人税の達人」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー [データのインポート] をクリックします。

※「達人 Cube」のインストール状況で業務メニュー画面が異なります。

■ インストールされている場合

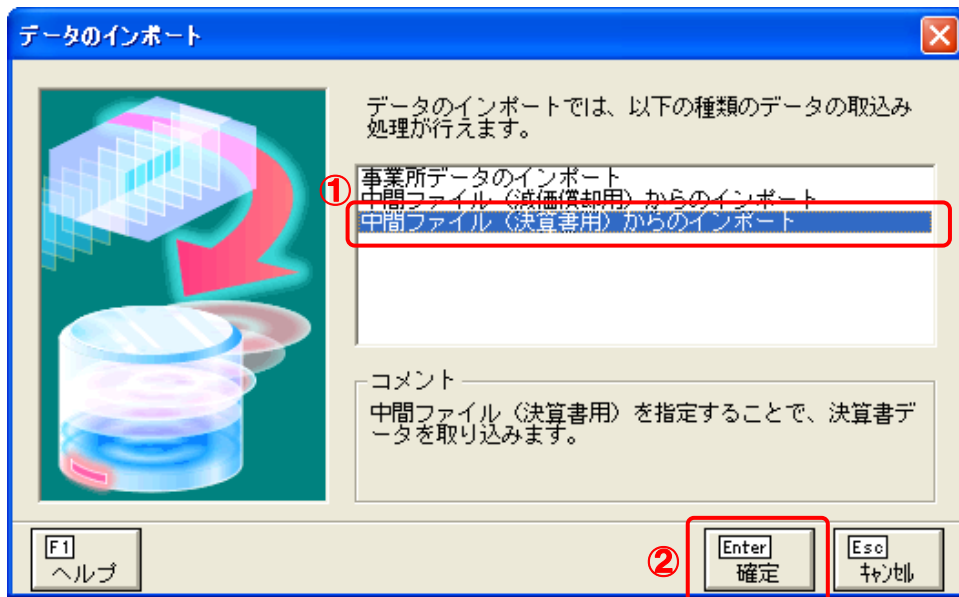


■ インストールされていない場合



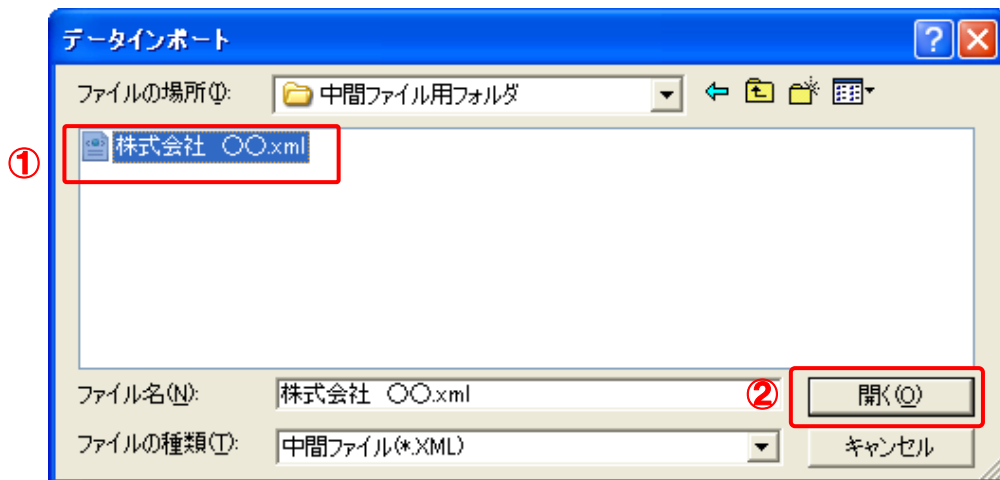
[データのインポート]画面が表示されます。

- 13.** [中間ファイル(決算書用)からのインポート] をクリックして選択し (①)、[確定] ボタンをクリックします (②)。



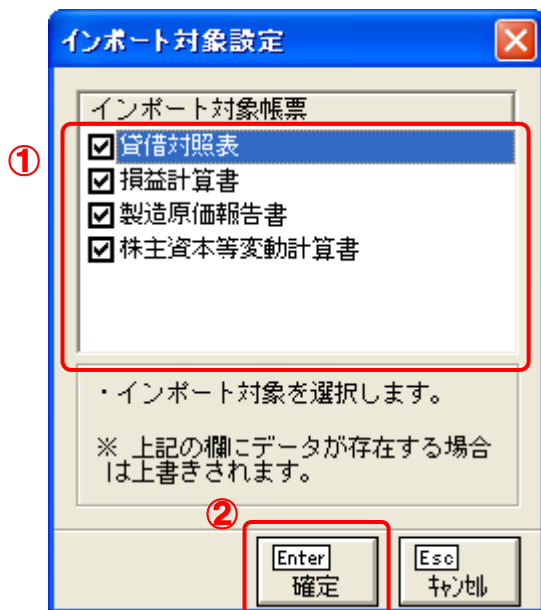
[データインポート]画面が表示されます。

- 14.** 作成した中間ファイルをクリックして選択し (①)、[開く] ボタンをクリックします (②)。



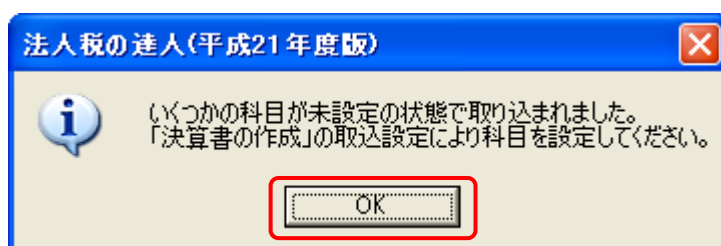
[インポート対象設定]画面が表示されます。

15. [インポート対象帳票]を設定して①、[確定] ボタンをクリックします②。



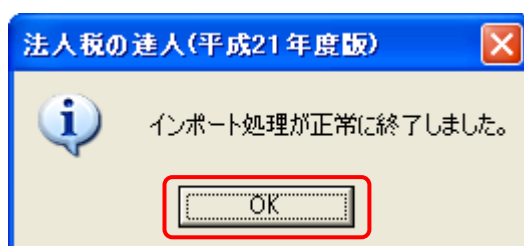
取込設定についてのメッセージが表示されます。

16. [OK] ボタンをクリックします。



完了画面が表示されます。

17. [OK] ボタンをクリックします。



[業務メニュー]画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは終了です。



注意

- データの作成を行う前に、以下の集計先の設定が正しく行われているかどうかを必ず確認してください。

- ・「貸借対照表」の集計項目の設定
- ・「損益計算書」の集計科目の設定
- ・「原価報告書」の集計科目の設定

Σ会計の会社データの全勘定試算表印刷順序と連動しています。

勘定科目や印刷順序を追加・変更・削除した場合は、必ず集計先の設定を確認してください。

- データの作成を行う前に、以下の変動事由の名称が設定されているかどうかを必ず確認してください。

- ・ 新株の発行
- ・ 新株の発行(新株予約権の行使)
- ・ 剰余金(その他資本剰余金)の配当
- ・ 剰余金の配当
- ・ 剰余金の配当(適用初年度)
- ・ 自己株式の取得
- ・ 自己株式の処分
- ・ 自己株式の消却
- ・ 当期純利益
- ・ 合併による増加
- ・ 会社分割による増加
- ・ 株式交換による増加
- ・ 株式移転による増加
- ・ 分割型の会社分割による減少
- ・ 資本金から準備金への振替
- ・ 資本金から剰余金への振替
- ・ 準備金から資本金への振替
- ・ 準備金から剰余金への振替
- ・ 減資
- ・ 欠損填補
- ・ 資本準備金の取崩
- ・ 役員賞与
- ・ 利益処分
- ・ 利益準備金の積立

- ・ 利益準備金の取崩
- ・ 配当平均積立金の積立
- ・ 配当平均積立金の取崩
- ・ 固定資産圧縮積立金の積立
- ・ 固定資産圧縮積立金の取崩
- ・ 固定資産圧縮積立金の積立(適用初年度)
- ・ 固定資産圧縮積立金の取崩(適用初年度)
- ・ 固定資産圧縮特別勘定積立金の積立
- ・ 固定資産圧縮特別勘定積立金の取崩
- ・ 特別償却準備金の積立
- ・ 特別償却準備金の取崩
- ・ 特別償却準備金の積立(適用初年度)
- ・ 特別償却準備金の取崩(適用初年度)
- ・ プログラム等準備金の取崩
- ・ 海外投資等損失準備金の積立
- ・ 海外投資等損失準備金の取崩
- ・ 研究開発積立金の積立
- ・ 研究開発積立金の取崩
- ・ 配当積立金の積立
- ・ 配当積立金の取崩
- ・ 配当準備金の積立
- ・ 配当準備金の取崩
- ・ 配当準備積立金の積立
- ・ 配当準備積立金の取崩
- ・ 配当引当積立金の積立
- ・ 配当引当積立金の取崩
- ・ 退職給与積立金の積立
- ・ 退職給与積立金の取崩
- ・ 退職積立金の積立
- ・ 退職積立金の取崩
- ・ 退職手当積立金の積立
- ・ 退職手当積立金の取崩
- ・ 退職慰労積立金の積立
- ・ 退職慰労積立金の取崩
- ・ 役員退職積立金の積立
- ・ 役員退職積立金の取崩
- ・ 圧縮記帳積立金の積立
- ・ 圧縮記帳積立金の取崩

- ・ 圧縮積立金の積立
- ・ 圧縮積立金の取崩
- ・ 土地圧縮積立金の積立
- ・ 土地圧縮積立金の取崩
- ・ 建物圧縮積立金の積立
- ・ 建物圧縮積立金の取崩
- ・ 不動産圧縮積立金の積立
- ・ 不動産圧縮積立金の取崩
- ・ 資産圧縮積立金の積立
- ・ 資産圧縮積立金の取崩
- ・ 償却資産圧縮積立金の積立
- ・ 償却資産圧縮積立金の取崩
- ・ 買換資産圧縮積立金の積立
- ・ 買換資産圧縮積立金の取崩
- ・ 買換資産積立金の積立
- ・ 買換資産積立金の取崩
- ・ 特別償却積立金の積立
- ・ 特別償却積立金の取崩
- ・ 特別積立金の積立
- ・ 特別積立金の取崩
- ・ 任意積立金の積立
- ・ 任意積立金の取崩
- ・ 別途積立金の積立
- ・ 別途積立金の取崩
- ・ 土地再評価差額金の取崩
- ・ その他有価証券の売却による増減
- ・ その他有価証券の減損処理による増減
- ・ 純資産の部に直接計上されたその他有価証券評価差額金の増減
- ・ 連結子会社の増資による持分の増減
- ・ ヘッジ対象の損益認識による増減
- ・ ヘッジ会計の終了による増減
- ・ 純資産の部に直接計上された繰延ヘッジ損益の増減
- ・ 在外連結子会社等の株式の売却による増減
- ・ 連結範囲の変動に伴う為替換算調整勘定の増減
- ・ 純資産の部に直接計上された為替換算調整勘定の増減
- ・ 新株予約権の発行
- ・ 新株予約権の取得
- ・ 新株予約権の行使

- ・ 新株予約権の失効
- ・ 自己新株予約権の消却
- ・ 自己新株予約権の処分

- ・ 連結子会社の増加による少数株主持分の増減
- ・ 連結子会社の減少による少数株主持分の増減
- ・ 連結子会社株式の取得による持分の増減
- ・ 連結子会社株式の売却による持分の増減
- ・ 少数株主利益
- ・ 株主資本以外の項目の当期変動額(純額)

Σ会計の会社データの変動事由名と連動しています。

「Σ会計 Pro-Socio」から連動するデータ（連動元）

試算表



株主資本等変動計算書

Σ 会計Pro-Socio - [Ver7.51]

0001 株式会社 ○○
2009年04月01日～2010年03月31日

仕訳入力メニュー	予算設定メニュー	1 仕訳帳	2 総勘定元帳	3 試算表	4 2期比較試算表	5 3期比較試算表
財務諸表 1	ユーザーメニュー	6 5期比較試算表	7 予算比較試算表	8 規定試算表	9 2期比較規定試算表	10 3期比較規定試算表
財務諸表 2	繰越合併メニュー	11 5期比較規定試算表	12 予算比較規定試算表	13 損益推移表	14 資産・負債運用増減表	15 決算報告書
部門計算メニュー	シミュレーション	16 株主資本等変動計算書	17 2期比較決算報告書	18 資金繰実績表	19 経営分析表	20
個別原価メニュー	自計化通信メニュー					
マスタ保守メニュー						
残高設定メニュー	会社選択 (F9)					

株主資本等変動計算書を出力します。

番号を入力してください

フォームビュー

変動事由実績設定

Σ 会計Pro-Socio - [Ver7.51]

0001 株式会社 ○○
2009年04月01日～2010年03月31日

仕訳入力メニュー 予算設定メニュー
財務諸表 1 ユーザーメニュー
財務諸表 2 繰越合併メニュー
部門計算メニュー シミュレーション
個別原価メニュー 自計化通信メニュー
マスタ保守メニュー
残高設定メニュー 会社選択(F9)

1 仕訳入力
2
3
4
5
6 仕訳チェックリスト
7
8
9
10
11 振替伝票
12 仕訳辞書一覧表
13
14
15
16 数字確定月設定
17 変動事由実績設定
18
19
20

仕訳データに純資産0

Σ 会計Pro-Socio - [Ver7.51]

0001 株式会社 ○○

変動事由実績設定

自: 2009年04月01日
至: 2010年03月31日

期間指定 ☒ 当期 ☐ 翌期 処理月 4 月度 ~ 3 月度 検索(F7)

年月日 伝票No. 仕訳No.	借方勘定 科目 / 補助	部門	仕訳金額 変動事由 摘要	貸方勘定 科目 / 補助	部門	仕訳金額 変動事由
16/06/30	現金		200,000,000	利益準備金		200,000,000
104	リース料		対象外			積み立て

クリア(F5) 登録(F11) 終了(F9)

フォームビュー NUM

「法人税の達人」に連動するデータ(連動先)

「法人税の達人」に連動する帳票は以下のとおりです。次ページ以降の各画面の網掛け部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表、損益計算書、製造原価報告書、株主資本等変動計算書、個別注記表

貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
資産の部		資産合計
流動資産		流動資産合計
当座資産		
現金及び預金		現金及び預金合計
現金		
小口現金		
預金		
当座預金		
郵便振替貯金		
普通預金		
郵便貯金		
通知預金		
納税準備預金		
貯蓄預金		
その他の流動性預金		
定期預金		
定期積金		
積立預金		
別段預金		
特定金銭信託		
その他の固定性預金		
その他の預金		
受取手形(純額)		純額

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F5 企業情報
 F7 利益処分
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
売上高		売上高の合計額
営業活動による費用・売上原価		
商品売上原価		
商品期首たな卸高		
当期商品仕入高		
合計		
商品期末たな卸高		
完成工事原価		
兼業事業売上原価		
期首たな卸高		
当期仕入高		
仕入値引及び戻し高		プラスの金額を登録
仕入割戻し高		プラスの金額を登録
その他の仕入高		
合計		
期末たな卸高		
一般販売売上原価		
役務原価		
運送原価		
当期運送原価		
割賦売上原価		
受託販売売上原価		
フランチャイズ売上原価		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表 |

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
仕入原価		
期首たな卸高		
商品仕入高		
仕入値引・戻し高		
合計		
期末たな卸高		
材料費		当期材料費合計額を登録
期首原材料たな卸高		
当期原材料仕入高		
非課税原材料仕入		
薬品仕入高		
診療材料仕入高		
給食材料仕入高		
医療消耗備品仕入高		
原材料仕入値引戻し高		プラスの金額を登録
原材料割戻し高		プラスの金額を登録
その他の原材料仕入高		
合計		
期末原材料たな卸高		プラスの金額を登録
主要材料費		
補助材料費		
労務費		当期労務費合計額を登録
建設労務費		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
 F2 開じる
 F3 検索
 F5 企業情報
 F7 利益処分
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

株主資本等変動計算書等

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
株主資本		
資本金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
国庫等補助金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高		
指定寄付金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
 F2 開じる
 F3 検索
 F5 企業情報
 F7 利益処分
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

個別注記表

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

注記事項	設定内容
継続企業の前提に関する注記	
重要な会計方針に係る事項に関する注記	
資産の評価基準及び評価方法	
有価証券の評価基準及び評価方法	
たな卸資産の評価基準及び評価方法	
固定資産の減価償却の方法	
引当金の計上基準	
収益及び費用の計上基準	
その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項	
金利の取得減価償却	
その他	
項目名	
内容	
会計処理の原則又は手続の変更	
表示方法の変更	
貸借対照表に関する注記	
担保資産及び担保付債務	
資産の部から直接控除した貸倒引当金	
流動資産	
投資その他の資産	
有形固定資産の減価償却累計額	
保証債務額	
受取手形割引高	

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
 F2 開じる
 F3 検索
 F5 企業情報
 F7 利益処分
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

7. アンインストール方法

「法人税の達人(平成 21 年度版) from Σ 会計」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

Microsoft Windows Vista では、インストール作業中に[ユーザーアカウント制御]画面が表示されることがあります。その場合は[許可]ボタンをクリックして作業を進めてください。

- 1. Windows の [スタート] ボタン - [コントロールパネル] をクリックします。**
[コントロールパネル]画面が表示されます。
- 2. [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。**
[プログラムの追加と削除]画面が表示されます。
- 3. [法人税の達人(平成 21 年度版) from Σ 会計] をクリックして選択し、[変更と削除] ボタンをクリックします。**
[セットアップ]画面が表示されます。
- 4. [削除] を選択した状態で [次へ] ボタンをクリックします。**
[ファイル削除の確認]画面が表示されます。
- 5. [OK] ボタンをクリックします。**
アンインストールが開始されます。
- 6. アンインストールの完了画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。**

以上で、「法人税の達人(平成 21 年度版) from Σ 会計」のアンインストールは終了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- ・ 「法人税の達人(平成 21 年度版) fromΣ会計」 は株式会社アイ・エヌ・エスの登録商標です。
- ・ 「法人税の達人(平成 21 年度版) fromΣ会計」 を使用により生じた障害に関し、弊社では一切の責任を負いません。
- ・ 「法人税の達人(平成 21 年度版) fromΣ会計」 の内容は一部また全てを無断でコピー、流用することは法律で禁じられています。
- ・ 「法人税の達人(平成 21 年度版) fromΣ会計」 のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

**法人税の達人 (平成 21 年度版) from Σ 会計
運用ガイド**

平成 21 年 8 月 28 日改訂版
